



地域課題解決を通じた地方創生取組

MS&AD あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

地方創生戦略室 河合 亮介

MS&AD あいおいニッセイ同和損保

- ・ 設 立 : 1918年6月30日
- ・ 正味収入保険料: 1兆2,913億円
- ・ 総資産額: 3兆7,451億円
- ・ 営業部・支店: 94か所
- ・ 課/支社/営業所: 343か所
- ・ SC/SO数: 182か所
- ・ 格付け: A+(Standard and Poor's)

(2022年4月1日現在)

特徴

“「国内マーケット」に強み”

特に自動車保険マーケットに強み。国内1,000万台超の自動車保険契約を保有

“「地域密着」を行動指針としている”

2016年に社内に『地方創生プロジェクト』を立ち上げ、地方創生取組を支援

“ 補償・お支払いをするだけでなく「保険のその先の価値」を志向 “



AD 地方創生プロジェクト

2016年に地方創生プロジェクトを立ち上げ、地方創生SDGsの実現に向け、**3つの取組軸**で地域課題解決をすすめています

地域社会への
貢献活動

課題解決に
向けたメニュー

先進技術を
活用したメニュー

全国59のリテール支店に『**地域戦略室**』を設置
地域に根差した『**担い手代理店**』とともに取組を推進

自治体との連携協定数

500

(2024年1月末)

地域の団体等との連携協定数

112

地域社会への
貢献活動

課題解決に
向けたメニュー

先進技術を
活用したメニュー

行動指針である**地域密着**を掲げ、
従来から**地域社会への貢献活動**に取り組んでいます

地域社会への貢献活動

地域貢献

誰ひとり取り残さないやさしいまちづくり



障がい者スポーツの体験やイベントを通じて普及のお手伝いをしています

- ベルマーク運動の取り組みによる復興支援
 - 感謝の月「地域の皆さま おかげさまで!」取り組み
 - ユニバーサルマナーの啓発活動
 - 障がい者スポーツ振興
- ・当社の障がい者スポーツ選手による講演会・体験会等
・当社は公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会オフィシャルパートナーです

SDGs対応No:1,3,4,5,8,10,11,16,17



地域の皆さまに感謝の気持ちを伝えるために各地で「清掃活動」などを行っています

地域社会への
貢献活動

課題解決に
向けたメニュー

先進技術を
活用したメニュー

従来の貢献活動に加え、**地域課題解決**を切り口とした
保険会社ならではの**リスクマネジメント支援**を実施しています

課題解決支援メニュー

中小企業支援

企業の健全な発展を支えるまちづくり



- 労務リスク対策セミナー
- サイバーリスク対策セミナー
- 食の安全対策セミナー
- 健康経営・働き方改革セミナー
- SDGsセミナー
- インバウンド受入対応力向上セミナー

SDGs対応No:2,3,4,5,6,7,8,11,17



介護福祉

高齢者にやさしいまちづくり

- 地域住民を対象としたセミナー（終活セミナー等）
- 介護事業者を対象としたリスクマネジメントセミナー



終活セミナー

SDGs対応No:3,8,11

危機管理

災害に強いまちづくり

- BCPセミナーの開催
- BCP策定キットを用いたリスクマネジメント
- 耐震対策セミナー



地震災害リスクに備える耐震セミナー

SDGs対応No:9,11,13,17

地域社会への
貢献活動

課題解決に
向けたメニュー

先進技術を
活用したメニュー

リスクマネジメント支援に加え、
先進性を活用した**新たな地域課題解決**にチャレンジしています

先
進
技
術

新たなモビリティ活用

テレマティクス技術を活用した取り組み

- テレマティクス技術を活用した交通安全イベント
- イベントで取得した挙動データをもとに交通安全MAPを作成



自動運転導入に向けた取り組み

- 導入に向けた実証実験支援
- 事業化に向けたコンサル



□ 内閣府より「地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』」として6年連続で選定を受け、地方創生担当大臣の大臣表彰を受賞するなど、社外からもご評価をいただいています



オンライン表彰式の様子

内閣官房・内閣府「地方創生」総合サイト掲載資料より抜粋
https://www.chisou.go.jp/sousei/pdf/2303_research_kinyu1.pdf

受賞年度	テーマ・地域課題	取組概要
2017年度	観光事業振興	観光オープンイノベーションイベント開催と医療機関向け取引信用保険の引受
2018年度	共生社会の実現	障がい者スポーツ支援活動やユニバーサルマナー・セミナーの開催等
2019年度	多文化共生社会の実現	外国人居住者向けの交通安全講習会や交通安全啓発イベントの開催等
2020年度	防災・減災	自治体や商工団体と連携したBCPセミナーの開催やBCP策定支援等
2021年度	交通安全	テレマティクス技術(デジタル技術)を活用した交通安全イベントの開催等
2022年度	防災・減災	リアルタイム被害予測ウェブサイト・アプリ「cmap」を活用した防災・減災支援

中期経営計画



まだ誰も知らない安心を、ともに。

Creating **S**hared **V**alue (社会との共通価値の創造)

DX (デジタルトランスフォーメーションの略語)

シーエスブイ バイ ディーエックス

**CSV×DXを通じて、
お客さま・地域・社会の未来を支えつつける**

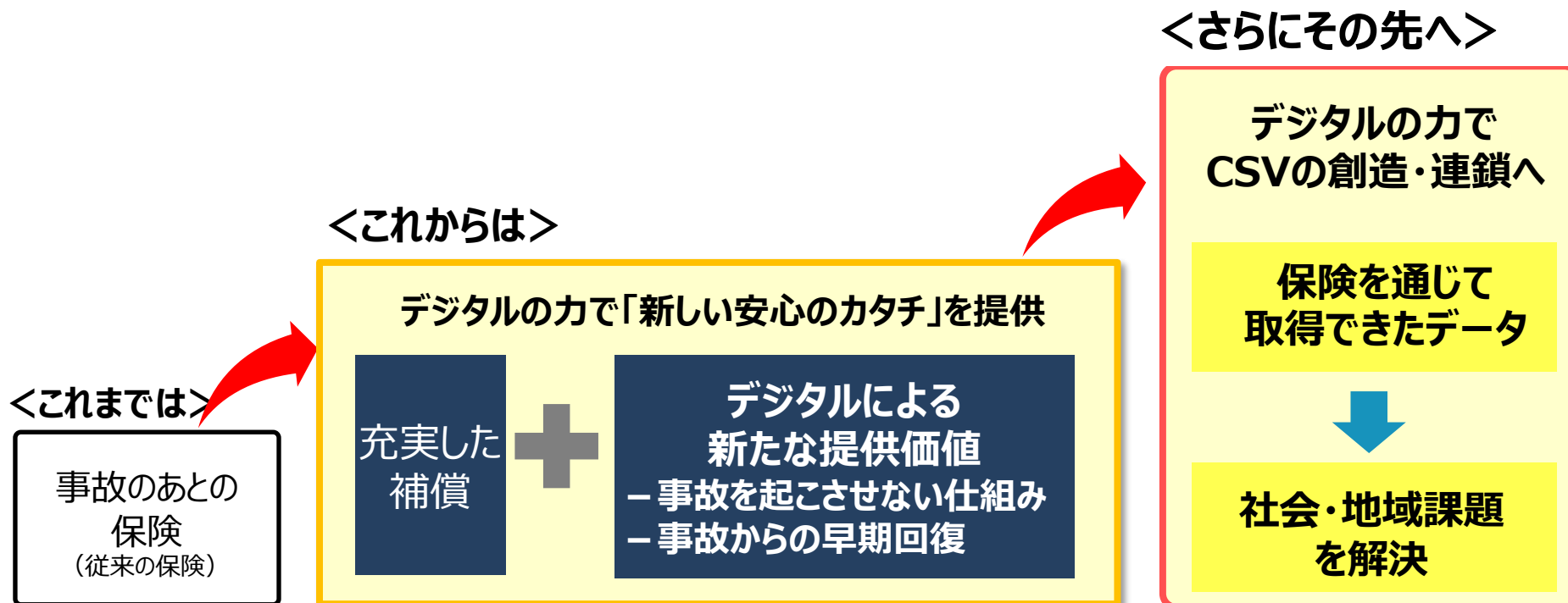
先進性・多様性・地域密着を進展させ、迅速・柔軟・果敢にチャレンジ

シーエスバイ バイ ディーエックス



CSV×DX※を通じて、 お客さま・地域・社会の未来を支えつつける

※Creating Shared Value（社会との共通価値の創造）



Telecommunication × Informatics



テレマティクス技術



テレマティクス技術
で取得できるデータ例

- 走行距離
- 走行時間帯
- 急発進
- 急ブレーキ
- 急ハンドル

走行データをもとに、運転特性に応じた保険料割引・運転アドバイスを提供し、
事故の未然防止につなげる「**テレマティクス自動車保険**」を展開

万引き

食品ロス

少子高齢化

人手不足

ハラスメント

待機

給率

空き家

保険・データ
等を通じて

様々な
社会・地域課題を
解決

男女格差

働き方改革

LGBT

自殺

老老介護

CSV
×DX

異常気象

食品偽装

Web版テレマティクス交通安全マップ

テレマティクスデータから取得した「急ブレーキ・急減速発生率」に基づき、自治体単位での地域の危険箇所候補を『Webサイト』上で可視化

危険箇所が一目で分かる **3** つの特長

1

地域の危険箇所を可視化

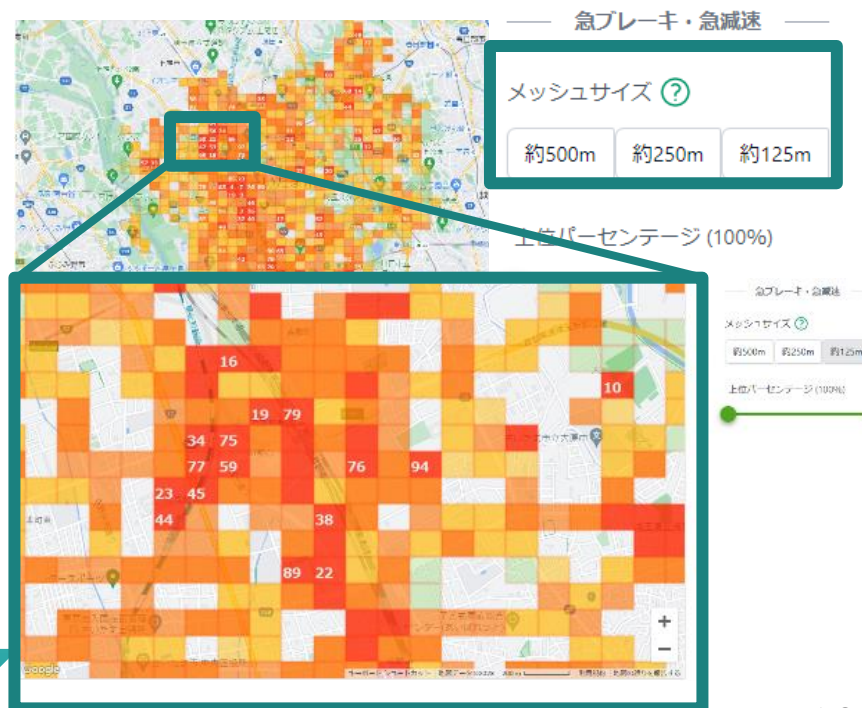
2

危険箇所をランキング化

3

メッシュサイズを拡大・縮小

地図を拡大し、メッシュサイズも詳細化



保育版交通安全マップ

保育園の周辺(半径約700m)の交通量・急減速発生率を表示したマップを提供

23年4月のリリース以降
すでに**3,500**件の申請



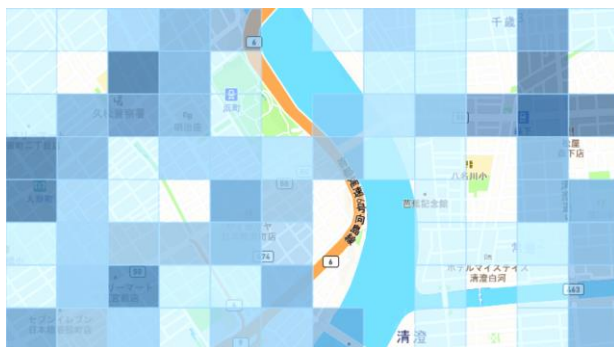
児童福祉法
改正に対応

2023年4月1日の児童福祉法改正により...

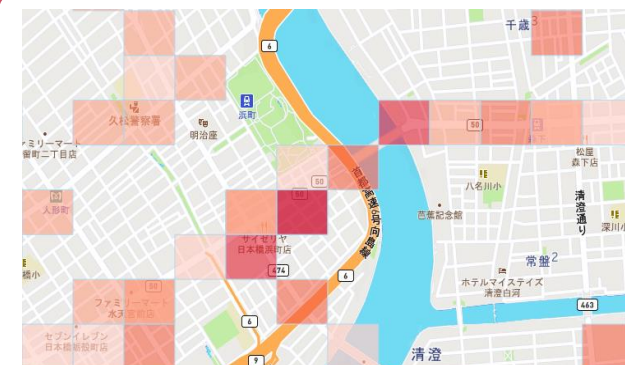
- ▶ 保育所等は、**子どもの安全確保の計画・策定が義務化!**
- ▶ 園外活動(散歩コース等)の**目的地や経路の安全点検も必須に!**



< 提供するレポート >



交通量 (交通量が多い箇所を表示)



危険箇所 (施設の周りを表示)

安全運転スコアを競うコンテスト

テレマティクス技術を活用した 安全運転/エコドライブ推進イベント

地域の皆さまにテレマ技術体験いただく **参加型** の交通安全イベント

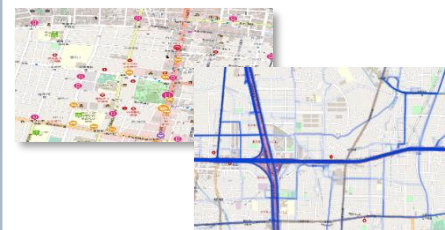
専用車載器から
走行データ
を取得



参加者自身の
安全運転の確認



地域の交通安全
マップ作成



イベントを開催

専用アプリと専用車載器(テレマティクスタグ)を地域企業・住民等の車両に取り付け、走行データから算出された安全運転スコアを競うイベントを開催。

●●市在住の皆様へ

エントリー大募集!!

エコドライブ・安全運転コンテスト

新しい技術を使い、「エコドライブ・安全運転」体験できるコンテスト形式のイベントを開催します！スマートフォンアプリにより、ゲーム感覚で楽しみながら新設的にご自身の安全運転技術の確認が可能です。また、エコドライブポイントがたまることで、環境に優しいクルマ社会づくりにも貢献する取組となります。趣向にご参加いただける皆様のご参加には、ご期待しております！

安全運転 運転終了後、すでに利用済みの運転記録をロードマップ
走行時のエコドライブ・急ブレーキ、過度な急減速中のスマートフォン使用データ等を診断
利用者の運転状況に応じた安全運転のヒントを提供

競走 スコアランキングトップ5名をゲーム感覚で発表
専用タグとスマホを連携して利用者の走行データ等を診断
・タグとスマホへの両方からデータが取り出され、おなじ利用可能

① (Visual Drive) アプリのインストール ② タグを貼り付け

安全運転ポイント 安全運転のヒント スコアランキング発表

<イベント概要>

開催日 日時：2022年●月●日(●) ●:00~●:00
場所：●●市役所 ●●会議室

コンテスト期間 2020年●月●日(●) ~ 2020年●月●日(●)

開会式 日時：2020年●月●日(●) ●:00~●:00
場所：●●市役所 ●●会議室

対象者 個人・個人・法人グループ(1グループ3名~5名) ※詳細は募集要項をご確認ください

参加費 無料(定員200名)

申込み 募集の申込書にご記入の上、FAXもしくは持参にてお申し込みください。

主催 ●●市 / あいおいニッセイ同和損害保険(株)

協賛 ●●市 ●●市 ●●市 TEL: FAX:
あいおいニッセイ同和損害保険(株) ●●支店 ●●支店 TEL: FAX:



交通安全マップを作成

収集された走行データを分析し、急加速や急ブレーキ、速度超過等の発生地点を表示した地域限定の「交通安全マップ」を作成・提供



(ご参考) 取組事例

2021年・2022年・2023年開催

佐賀県

セーフティドライバーコンテストの開催

- 包括連携協定先の佐賀県や佐賀県警察と共に、県内の交通事故低減を目的に「セーフティドライバーコンテスト」を開催
- 当コンテストで取得した運転挙動データで作成したオリジナル交通安全MAPを提供し、今後、通学路の選定、標識の設置等といった交通行政に活用
- セーフティドライブコンテストは大変盛り上がり、当日の様子は多くのマスコミに取り上げられ、地域におけるプレゼンスが向上
- 県担当者・警察関係者からも高く評価いただき、例年の取り組みとしていきたい旨の相談をいただく

参加者

県内事業所 212チーム・1,014名が参加

開催期間

1か月間





『冬のデジ田甲子園』で優勝し、内閣総理大臣賞を受賞

Point

- 冬のデジ田甲子園とは、「デジタル田園都市国家構想」の実現に向けた機運醸成を図るため、民間企業・団体等の取り組み最も優れたものを「内閣総理大臣賞」として表彰する岸田総理肝入りの表彰制度
- デジタル技術を保有する名だたる企業172社の応募取組の中で、当社のテレマティクス技術を活用した取組が最も優れた事例として、内閣総理大臣に認められたもの



- テレマティクス技術により県内ドライバー（454名）の運転データを取得し、危険運転発生地点を示す「福井県交通安全マップ」を作成・公開。
- 取得データを活用し、事故実績に基づく事後対応ではなく、危険運転エリアに対する先手先手の対策を行うことで、事故の未然防止を志向。

運転挙動データ収集

期間：2021年10月～2022年1月
 エリア：福井県福井市内（明新地区周辺）
 参加者：県内企業、教育機関、県民（454名）



「福井県交通安全マップ」作成・公開



対策実施・効果検証

① 対策実施



テレマティクス自動車保険の契約データも活用（急減速多発エリア）



② 効果検証

テレマティクス自動車保険の契約データで分析
 国内走行データ
 124億km分



ご清聴いただき、ありがとうございました。